

10月25日(日曜日)「しるしを求めているが」

【新改訳 2017】

ルカ 11・29-32

「さて……イエスは話し始められた。『この時代は悪い時代です。しるしを求めているが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。というのは、ヨナが……しるしとなったように、人の子が……しるしとなるからです。』」(29、30節)

主イエスの時代に、多くの人々は「しるし」=証拠としての奇蹟を求めました。そのような傾向を、イエスは悪い時代の特徴として見られました。後にはパウロも、ユダヤ人がしるしを要求することを暗に批判しています。

主イエスは、今日の教会をご覧になったら、どう言われるでしょうか。

ヨナがニネベの人々にしるしとなったように、人の子(イエス)は、この時代のためにしるしとされました。それは十字架につけられ、死んで葬られ、三日目に墓からよみがえられたことです。これによって、メシヤなることは十分に証明されたのです。ですから、必要なのは、他のしるしではなく、イエスをメ

シヤと信じる信仰なのです。

～祈り～

主よ。しるしを見なければ信じない信仰ではなく、あなたを信じ、みことばを信じて従う信仰であらせてください。

【学びのために】。

ヨハネ 20・29「イエスは彼に言われた。『あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです』」。なお、「しるし」を見ても、信じない人もたくさんいます。マルコ 6・52、8・17 ほか参照。